

土木計画課・狭あい道路整備課・みどり公園課

【既定】	雨水流出抑制対策等工事助成	予算額 40,943 千円
【投資】	道路の路面改良	予算額 1,999,561 千円
【投資】	私道整備助成	予算額 193,776 千円
【投資】	公園のリニューアル	予算額 466,045 千円
【投資】	杉並第二小学校の改築 ※教育委員会事務局 P143	予算額 327,135 千円
【投資】	中学校の長寿命化改修 ※教育委員会事務局	予算額 1,161,398 千円

事業の目的・概要

近年多発する集中豪雨や台風による水害に備え、雨水流出抑制の対策強化として、公共施設における雨水流出抑制対策の拡充を図るとともに、自然の基盤を活用したグリーンインフラ（Nature-based Solutions）など、新たな視点での雨水流出抑制対策について検討を進めていきます。

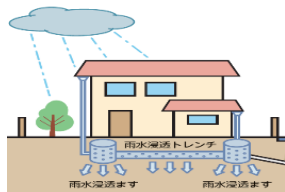
主な取組内容

➤ **雨水流出抑制対策の推進 拡充**

区では、市街化の進展に伴う都市型水害に対応するため、総合治水対策の一環として雨水流出抑制対策に取り組んでおり、神田川、目黒川流域豪雨対策計画に基づき、区に求められている目標対策量 627,000 立方メートルに対し、令和 4 年度末の達成率は 56.8%となっています。

令和 6 年度より、これまでの取組みの強化として、区道等の透水性舗装化や区立施設への雨水浸透・貯留施設の拡充を図ります。

民間施設の雨水流出抑制対策については、雨水浸透施設の設置助成制度により、引き続き、雨水浸透ます等の設置を促進していきます。



住宅に設置する雨水浸透施設



雨水を路面下に浸透させる透水性舗装



校庭下に設置する浸透・貯留槽

➤ **グリーンインフラを活用した雨水流出抑制対策の検討**

今後、気候変動による降雨量の増加が見込まれる中、水害に対する安全性の向上を更に図るため「雨水流出抑制対策」の加速・強化が求められています。

そのため、これまでの対策に加え、自然の持つ力を活用したグリーンインフラ等について、区民との対話の中で議論を行い、雨水流出抑制対策のさらなる強化に向けて検討を進めていきます。

新規 拡充

「グリーンインフラ（雨庭）」活用事例
四条堀川交差点（京都市）



（出典：京都市ホームページ）